

校長通信 調和

発行
校長 寺島克彦
〒384-0023
小諸市東雲4-1-1
TEL 0267-22-0216

題字 渡邊虚舟

「入学おめでとう！」「進級おめでとう！」今年も小諸高校生の輝く活躍を期待しています！

【入学式「式辞」より抜粋】

小諸高校はご存じの通り、本年で創立百十二年を迎える伝統校です。もうすでに皆さんも覚えてくれたと思いますが「輝く未来 掴むのはキミだ！ 小諸高校生 ～伸びしろ無限大～」を合言葉に、生徒も職員も、元氣よく活発に勉強に部活動に取り組んでいます。私は「小諸高校はどんな学校ですか」と尋ねられたら、このフレーズを披露しています。では、「そんな小諸高校生はどんな姿を目指しているのですか」あるいは「小諸高校生はどんな生徒ですか」と尋ねられたら次のように応えます。

「こ・も・ろ」の三文字に当てはめました。

「こ」「志高く」、「も」「問題意識を常に持ち」、「ろ」「労を惜しまない」

これが小諸高校生です。

「志高く」とは「夢・理想をあきらめない」ということです。瞬間であれば「思う」ことも「思い描く」ことも誰でもできます。でも「思い続けることが難しい」のです。「志を高く」とは単に「高い目標を持つ」ということではないのです。「思い続ける」そのプロセスが最も大切だと考えています。

「問題意識を常に持つ」ということは「主体的に考える」ということです。これは個人的な問題から、政治や世界が抱える問題まで共通する課題です。常に受け身であってはならないのです。言われるままにただ過ごしては、ともすると、間違った方向に進んでしまいます。是非、主体的に考えてください。

「労を惜しまない」ということは「自ら積極的に動く」ということです。素晴らしいアイデアが浮かんでも、行動しないことには何も始まりません。信州弁の「ずく出せ」です。あなた自身がまず動くことです。

私はこれまで、教諭と教頭職で通算十二年間、小諸高校生を見てきました。素晴らしい学生が沢山巣立っていきました。まさに彼らがこうだったと感じています。

「志高く、問題意識を常に持ち、労を惜しまず」高校生活を送った皆さんの先輩がその輝く未来を掴んでいるのです。在校する全員がこんな小諸高校生になってくれることを期待しています。



ヤッターネ！・吹奏楽部！

平成 28 年度中部日本個人重奏コンテスト本大会（富山県新川文化ホール）※東海北陸の 9 県の大会において、本校の吹奏楽部からは 2 団体、2 個人が長野県大会を勝ち抜き県代表として出場し、次のとおり輝かしい成績を修めました。（過去最多出場）

♪ニューフォニアム独奏・石倉雄太さん…金賞・中日新聞社賞（第一位）受賞、**東海北陸9県の最高位です！**

♪アルトサクソフォン独奏・小林純菜さん…銀賞

♪打楽器六重奏…金賞

♪木管八重奏…銀賞



《保護者の皆様へ》

本年度、本校の校長を拝命いたしました寺島でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、小諸高校を訪れる皆さんは、みな異口同音に小諸高校生の素直さと、礼儀正しさに感心して帰られます。これは、まず家庭の教育力に他なりません。これまで保護者の皆様にしっかりと育てていただいた賜物であると考えます。

様々な困難を乗り越える高校生活において、学校だけでは解決できないことも多くございます。どうか、これからも学校運営へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。